



2026年5月27日

各 位

会 社 名 株式会社 田 谷
代表者名 代表取締役会長兼社長 田谷 和正
(コード番号 4679 東証スタンダード)
問合せ先 経営企画部長 落合 一
(TEL. 03 - 6384 - 2231)

「継続企業の前提に関する注記」の記載解消に関するお知らせ

当社は、2026年5月25日開催の取締役会において、第52期定時株主総会の招集通知から、「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消することといたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

当社は、2020年3月期から2024年3月期まで連続して営業損失及び経常損失の計上となったこと、また、2025年3月期においても営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスを継続していたことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性が存在するものと認識し、「継続企業の前提に関する注記」を記載しておりました。

当社は、このような状況を踏まえ、早期の経営改善を図るべく、中期経営計画『T-ip60』ならびに『TAYA BX (Beauty Transformation) PROJECT』を推進し、抜本的な事業構造改革を進めてまいりました。その結果、2026年3月期においては、2期連続の営業利益および経常利益を黒字計上、加えて営業活動によるキャッシュ・フローがプラスに転じるなど、財務基盤の改善は着実に進んでおります。しかしながら、安定的に利益を計上できる状況には未だ至っていないことから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況が存在しております。

このような状況の解消を図るべく2027年3月期より、『Design the Evolution— 伝統を軸に未来をデザインする』をスローガンに、人的資本への投資を中核とした経営を推進してまいります。具体的には、美容師の技術力・提案力の向上を目的とした教育体系の高度化およびキャリアパスの明確化を通じて従業員エンゲージメントの向上を図り、生産性の向上に取り組んでまいります。

また、既存顧客の来店頻度向上および顧客単価の引き上げに資する接客力の強化に加え、ECやデジタル施策の活用による新規顧客の獲得を進めることで、人的資本の価値最大化を通じた増収の実現を目指してまいります。

資金面につきましては、2025年1月27日付及び2026年1月13日付の増資による資金調達により、当事業年度末の現金及び預金は531百万円を保有しており、事業に必要な資金についても都度取引金融機関からの支援を受けており、将来必要となる資金についても確保できる状況と認識しております。

このような状況を総合的に勘案し、現時点において継続企業の前提に影響を及ぼす重要な不確実性は認められないものと判断し、「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消することといたしました。

株主、投資家及び取引先の皆様をはじめ、市場関係者並びにステーク・ホルダーの皆様には、多大なるご心配をお掛けいたしました。今後、更なる業績及び企業価値向上に努めてまいります。引き続きご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

以 上